

JISHA方式方式適格OSHMS認証と ISO 45001 / JIS Q 45100 認証の違い

	JISHA方式適格OSHMS認証	ISO 45001 / JIS Q 45100 認証
要求事項	JISHA方式適格OSHMS基準 厚生労働省のOSHMS指針を踏まえ 中災防独自で策定	ISO 45001、JIS Q 45100規格 JIS Q 45100は、ISO 45001に日本独自の事項を追加
国際性	厚生労働省のOSHMS指針 及び ILOガイドラインに沿ったもの	ISO45001登録証を発行
認定機関	中央労働災害防止協会 技術支援部	公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB)
認証単位	原則として、 事業場	組織 (事業場、企業、グループ会社など)
審査方法	中災防独自	ISO 17021-1、同-10に基づく
	【初回審査】 ・書面調査 + 実地調査 ・サンプリングによる現場調査(2職場)	【初回審査】 ・第1段階 + 第2段階審査(現地調査) ・認証登録範囲の全ての組織
	【定期報告】 ・毎年、安全衛生計画終了後に報告 ・サーベイランス審査は省略	【サーベイランス審査】 ・毎年、現地調査を実施 ・初回審査工数の約1/3
	【更新審査】 ・初回と同様の審査方法 ・レベルアップ審査が可能	【更新審査】 ・初回審査工数の約2/3
工数 料 金	基本として、書面調査を数日、 実地調査を1日	IAF(国際認定フォーラム)の定めに基づく審査工数
	基本として定額制で、1回の審査料 1,023,000円 (本体930,000円 + 税10%) ※別途、実地調査に要する交通費及び 宿泊費が必要です。	定額ではない(組織によって異なる)ことから、 契約時に見積書を提示 ・申請料、認証料、認証維持料 ・審査料(組織の審査工数による) ・審査附帯費用(現地調査に要する交通費 及び宿泊費)